



新日鐵住金株式会社

証券コード：5401

2017年 中期経営計画

>>> *Accelerating ahead* >>>

2015年3月3日

新日鐵住金株式会社

代表取締役社長 進藤 孝生

1. 2017年 中期経営計画の狙いと位置付け
2. 2017年 中期経営計画の主要施策
3. 財務戦略と株主還元方針

1. 2017年 中期経営計画の狙いと位置付け



常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、
優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献します。



2015年までに**世界最高水準の競争力**を実現
最低目標 **ROS 5%** 程度、更に **ROS 10%** を目指す

技術先進性の発揮

世界最高水準の
コスト競争力の実現

最適生産体制の構築

グローバル戦略の推進

製鉄グループ会社の
体質強化



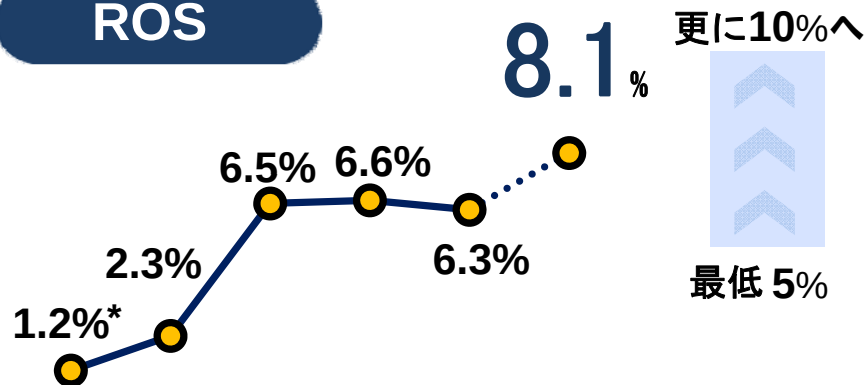
新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

全ての数値目標を着実に改善

6

ROS



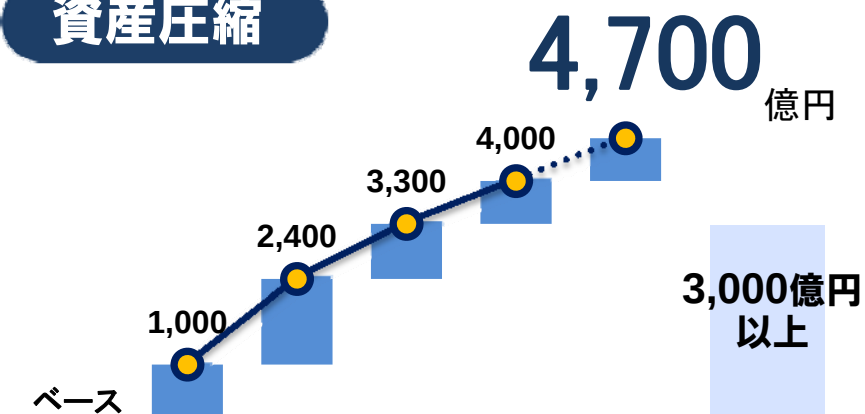
上	下	上	下	上	下見	目標
FY12		FY13		FY14		

統合シナジー



上	下	上	下	上	下見	目標
FY12		FY13		FY14		

資産圧縮



上	下	上	下	上	下見	目標
FY12		FY13		FY14		

D/Eレシオ



12E	3E	9E	3E	9E	12E	目標
FY12		FY13		FY14		

* FY12上期 : 旧両社合算ベース

世界の鉄鋼需要は緩やかに増加

中国の需給ギャップは当面解消されないが…

高級鋼需要は成長

省エネ・地球環境・インフラ投資 等

内需は堅調

国土強靱化・都市インフラ更新・製造業の国内生産増期待



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

国内

マザーミル競争力強化

「設備」と「人」両面の強化

粗鋼能力

5,000 万トン



海外

海外拠点収益拡大

下工程拠点の戦力化と更なる拡充

生産能力 (JV合計)*

2012

2014

900 万トン **》》》 1,900** 万トン

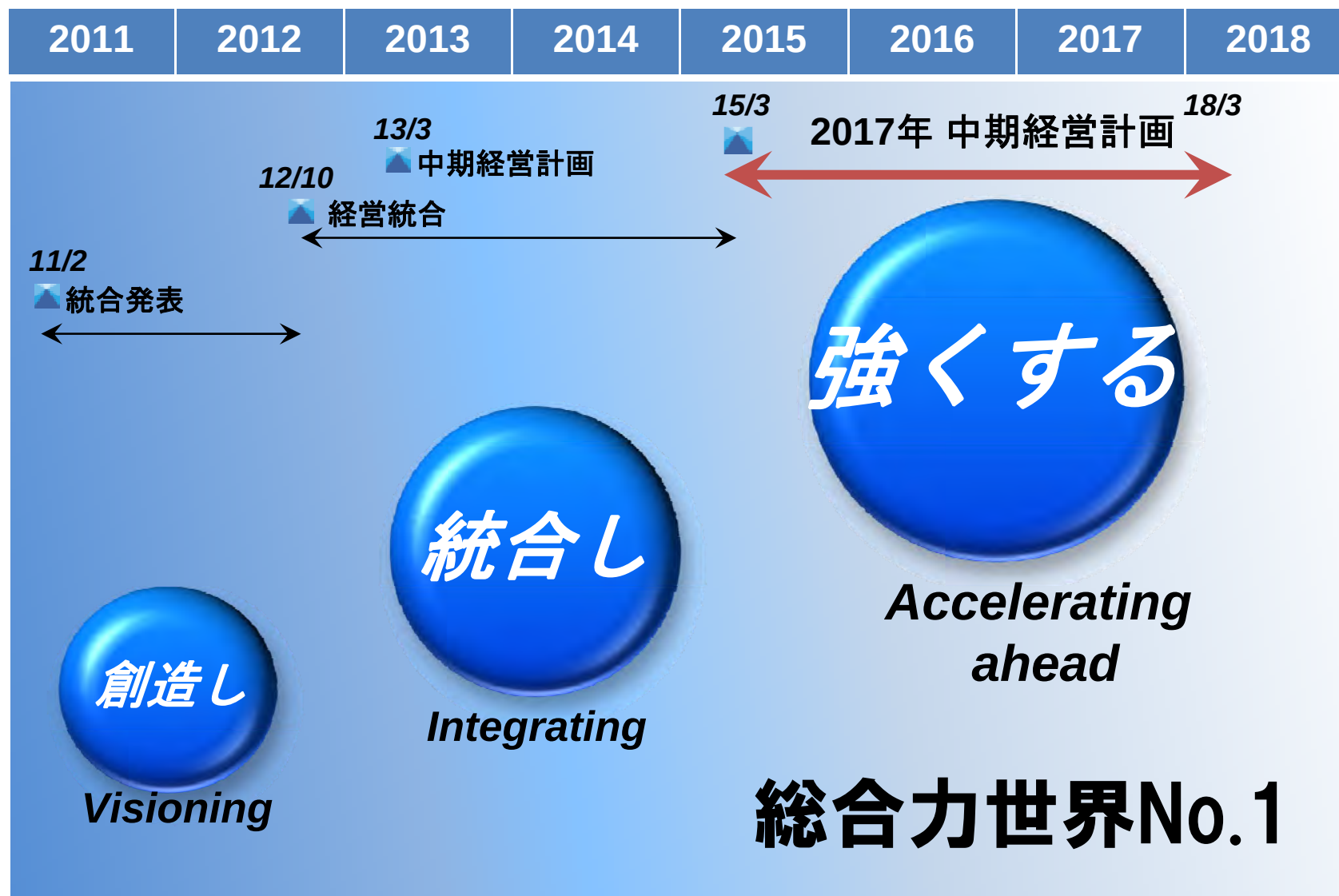


* 当社の持分比率反映前、伯・ウジミナス社（高炉一貫製鉄所）除き



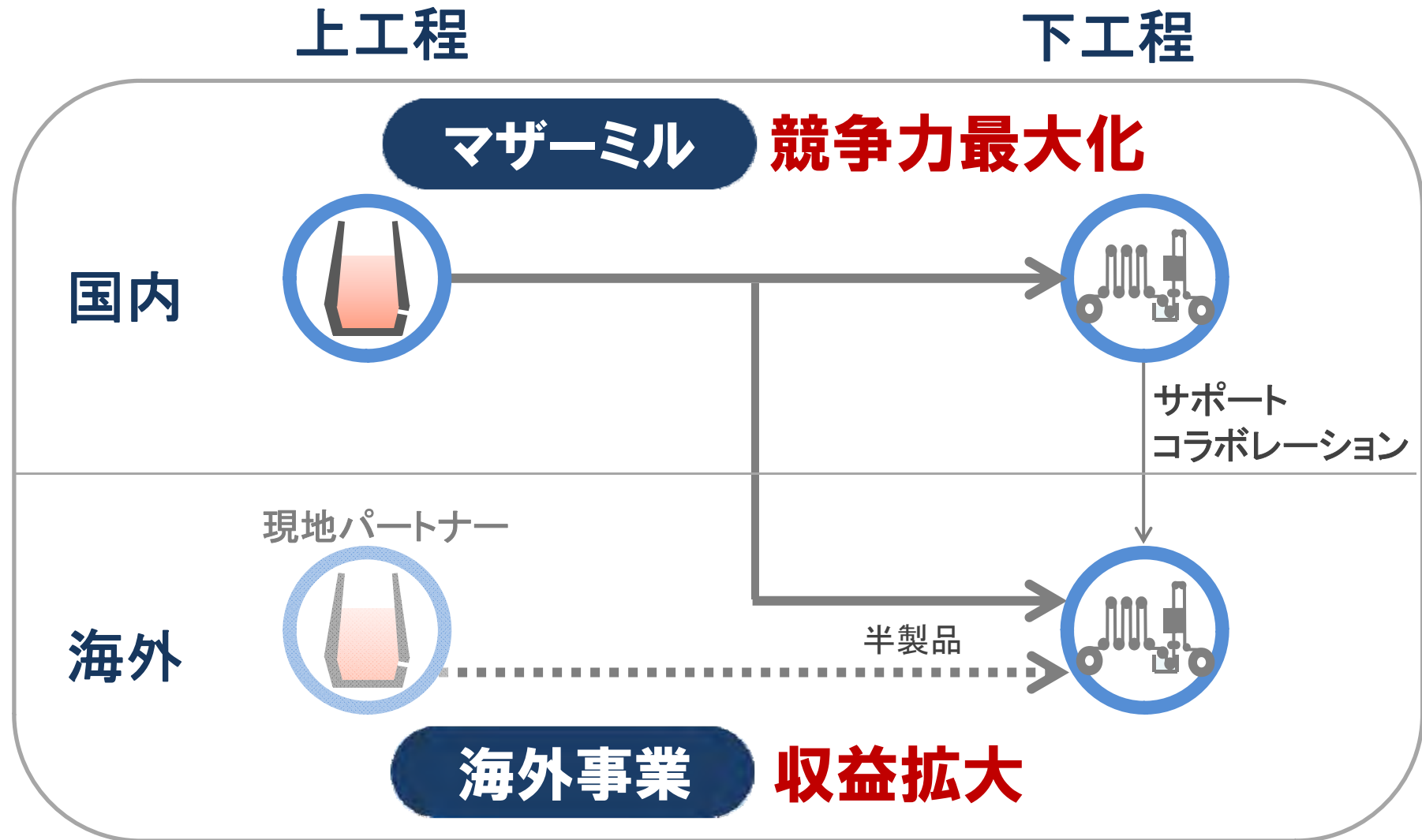
2017年 中期経営計画の位置付け

9



2. 2017年 中期経営計画の主要施策





ウジミナス、VSBに続く海外鉄源は継続課題

マザーミルの競争力最大化



12

採用(単独)

1,300 人/年
(+600 人/年)

(対 FY13-14見平均)

国内設備投資

13,500 億円/ 3ヵ年
(+3,000 億円/3ヵ年)

(対 FY13-14見平均)

コスト改善(単独)

年率 **1,500** 億円 以上

世界最高水準のコスト競争力実現



13

■ **コスト改善**(単独) 年率 **1,500** 億円 以上

■ **統合効果フル発揮** **600** 億円
(統合効果累計 2,000億円)

■ **上工程・
エネルギー対策 等** **900** 億円

鉄源競争力の更なる強化

	上工程	下工程
国内		
海外		

14

**君津
製鐵所**

高炉2基化（第3高炉休止）2015年度末

**八幡
製鐵所**

鉄源最適生産体制構築と棒線品種競争力強化（2018年度末）

戸畑第4高炉の増出鉄対策

戸畑→小倉 溶鉄輸送線の設置
他製鉄所からの鋼片供給

小倉第2高炉等を休止

小倉製鋼第4CC系列活用、第3CC系列休止
小倉地区製品生産は現状水準維持



戸畑第4高炉
(5,000m³ 2014年改修)



小倉製鋼工場
(2010年リフレッシュ)

**和歌山
製鐵所**

第5高炉から新第2高炉への切替え事前準備を開始

▶稼働時期は需要動向を踏まえ判断

海外拠点収益拡大



15

成長地域で拡大

事業投資
将来への成長投資

3,000 億円/3力年

早期戦力化

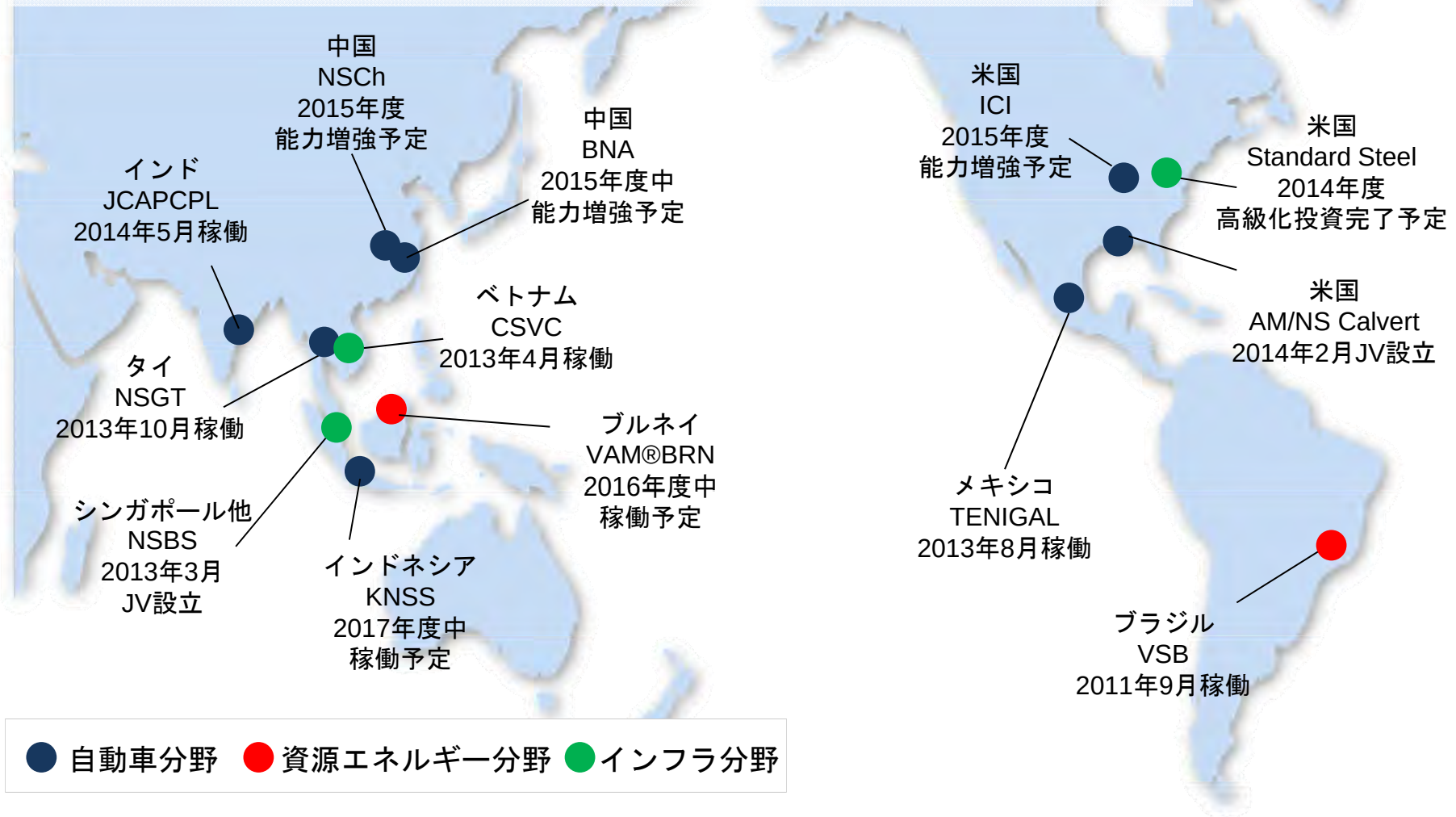
海外拠点出荷量

+ 20% /3力年 (対 FY14見)

収益拡大目標

+ 500 億円/3力年 (対 FY14見)

■ 立上げ中、能力拡大予定の主要海外拠点



■ 研究開発費 + 10% 程度 (対 FY13-14見平均)



高機能商品
開発

自動車



資源
エネルギー



インフラ



画期的な
プロセス開発



シームレス高交叉角拡管



SCOPE21 コークス炉



次世代鋼材研究
基盤技術研究



右2本が高圧水素用ステンレス鋼管

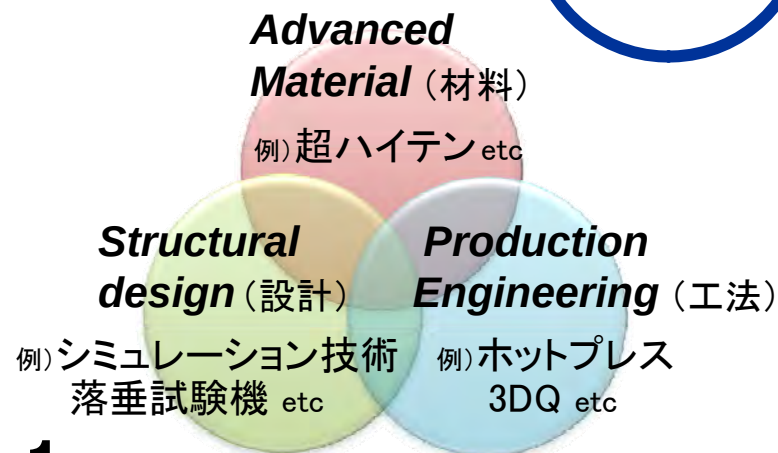


新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

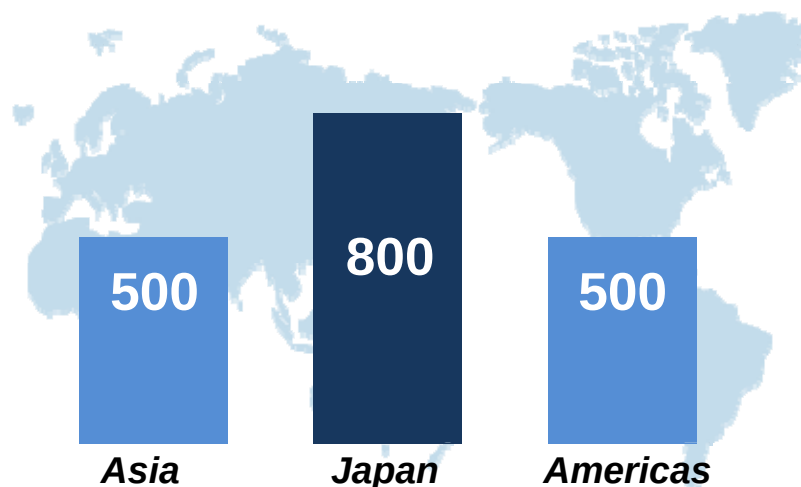
■お客様への総合提案力 No.1

「材料 + 設計 + 工法」の
トータルソリューション



■グローバルネットワーク No.1

■自動車用鋼板供給能力 (万トン/年)



■ハイテン製造可能地域

(ライセンス契約分を含む)



■ グループ会社統合効果フル発揮

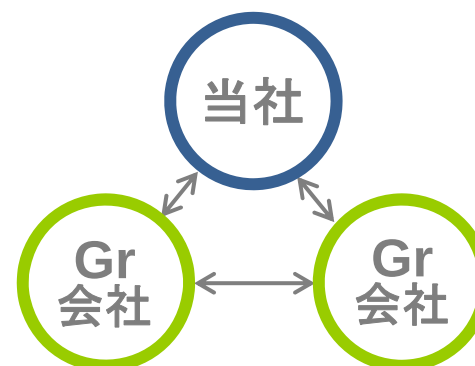
＜ 統合再編完了例 ＞

- | | | |
|------------|----|-------------------|
| ・ 物流 | 2社 | ▶ 日鉄住金物流 (株) |
| ・ 試験分析 | 2社 | ▶ 日鉄住金テクノロジー(株) |
| ・ 溶接鋼管 | 2社 | ▶ 日鉄住金鋼管 (株) |
| ・ 商社 | 2社 | ▶ 日鉄住金物産 (株) |
| ・ スラグ販売 | 4社 | ▶ 日鉄住金スラグ製品 (株) |
| ・ 設備メンテナンス | 9社 | ▶ 日鉄住金テックスエンジ (株) |

≫ 更に再編

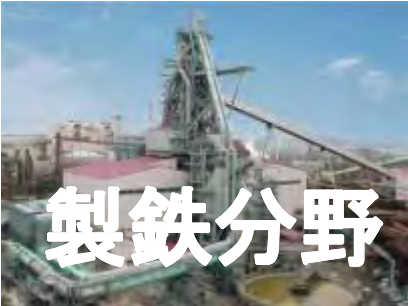
■ 一貫シナジー拡大

■ 「選択と集中」追求



非鉄セグメントのミッション

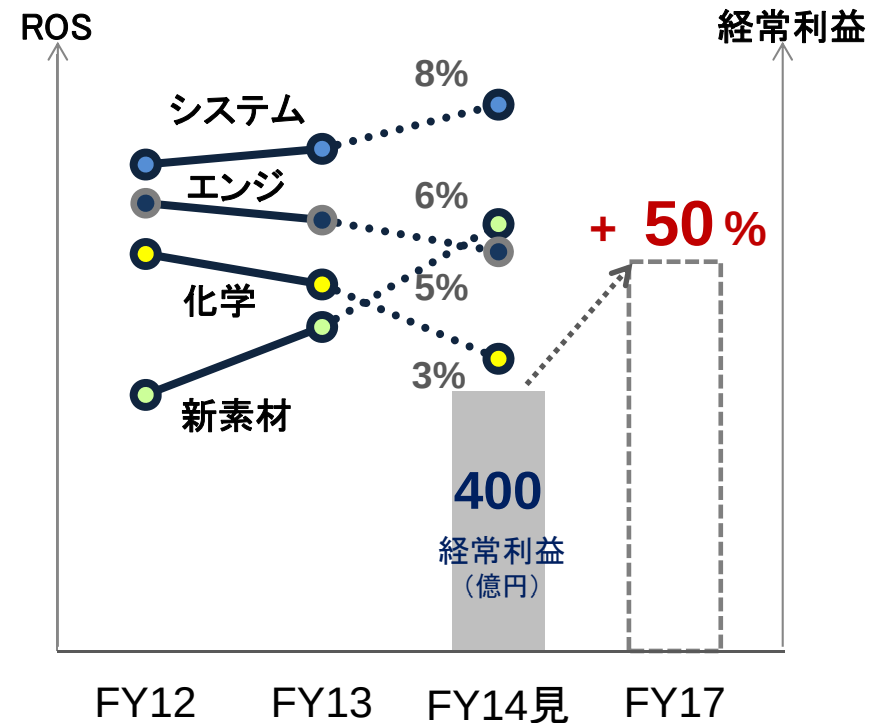
20

	エンジニアリング 	化 学 	新 素 材 	システム ソリューション 
 製鉄分野	シナジーの最大化			
	製鉄プラント	コークス タール活用	開発シーズ・ 基礎技術	IT ソリューション
 製鉄から 発展した分野	各業界トップクラスの収益力実現			
	環境・エネルギー エンジニアリング	化学品 回路基板材料	電子産業・ インフラ・ 環境分野	金融、官公庁等 業務ソリューション

■ 非鉄セグメントの海外拠点



■ 非鉄セグメント 経常利益・ROS



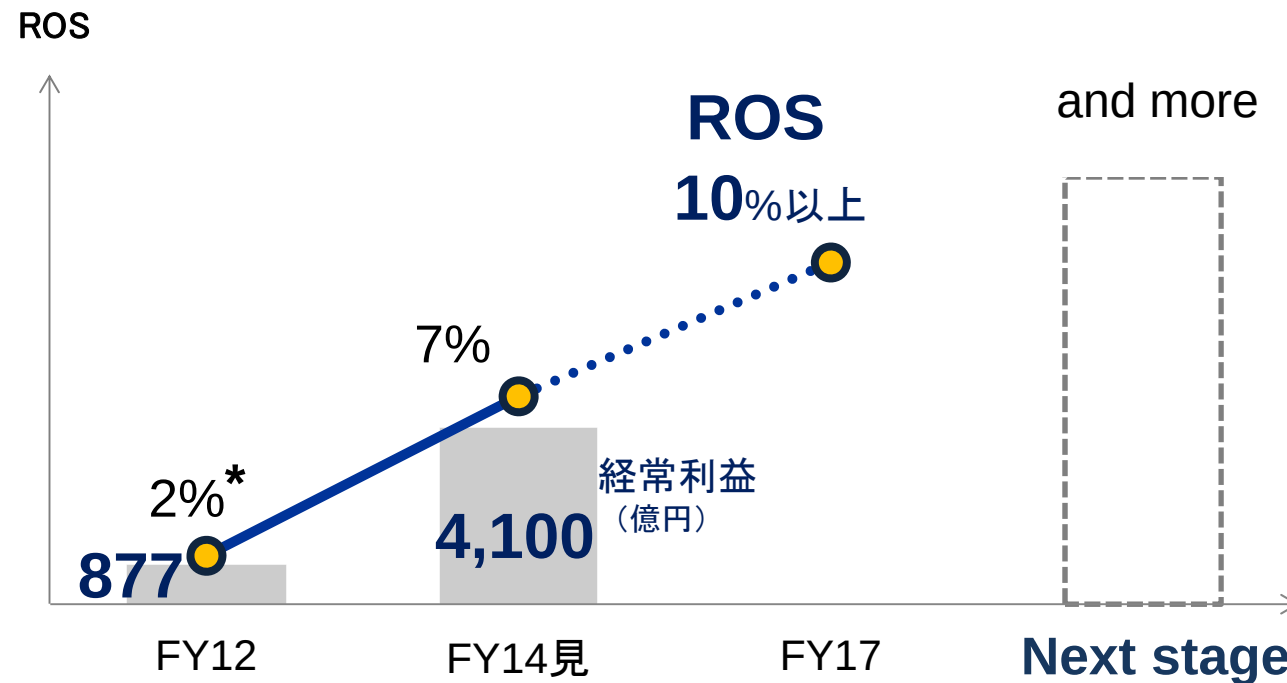
製鉄事業への貢献と独自事業の収益力拡大により

■ 非鉄経常利益 **+ 50%** /3ヵ年 (対 FY14見)

3. 財務戦略と株主還元方針



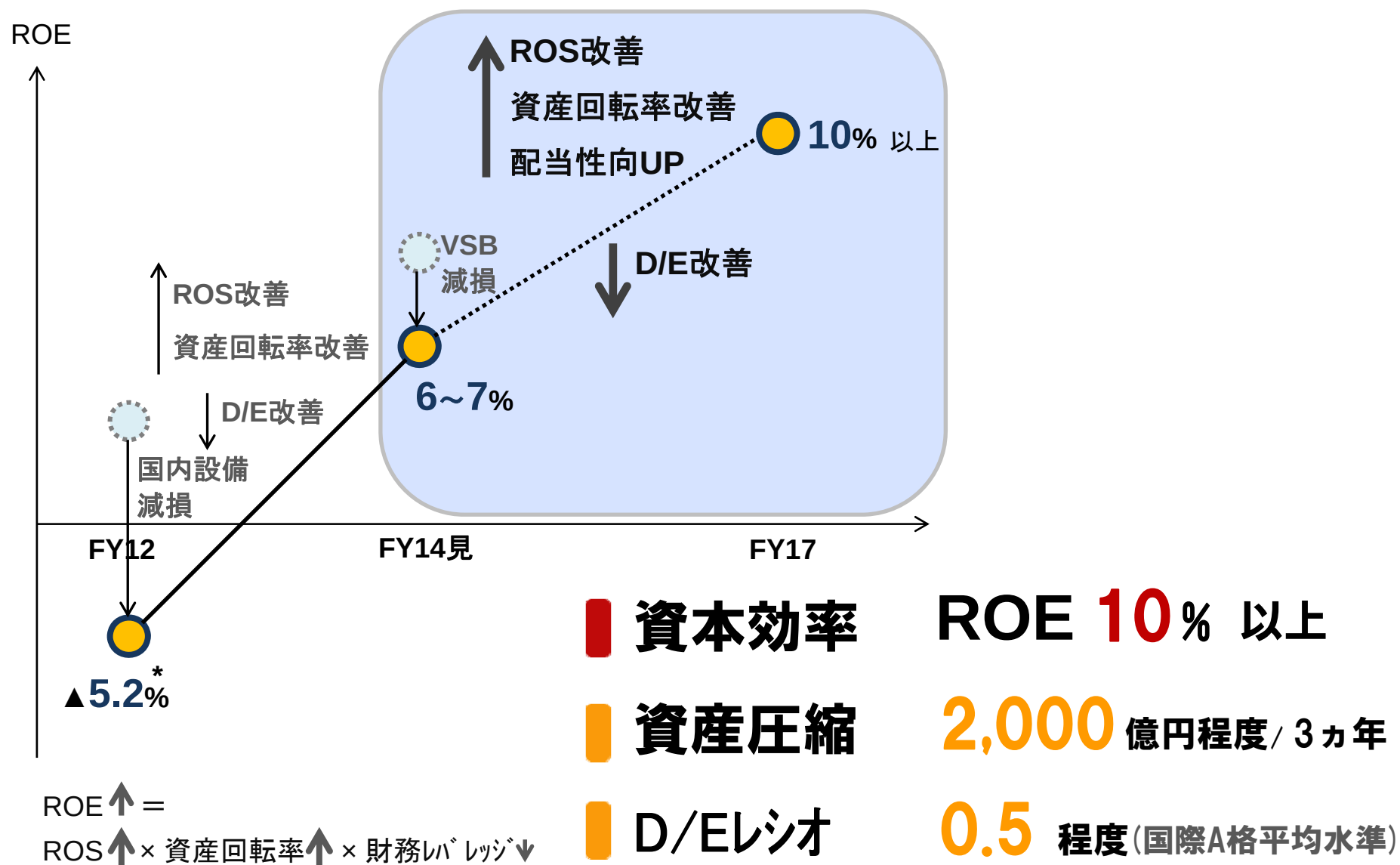
ROS 10%以上



* FY12上期は単純合算ベース

ROEターゲットと改善の考え方

24

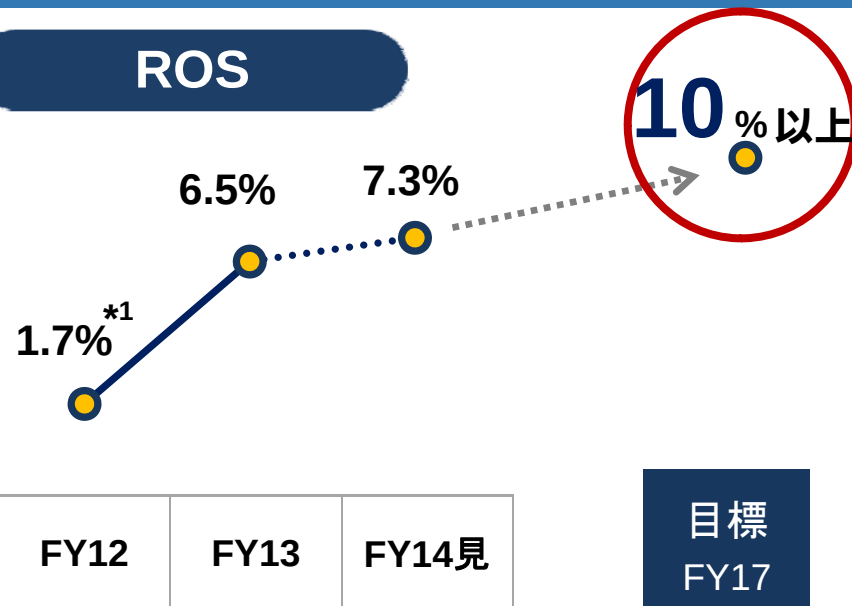


* FY12存続会社ベース

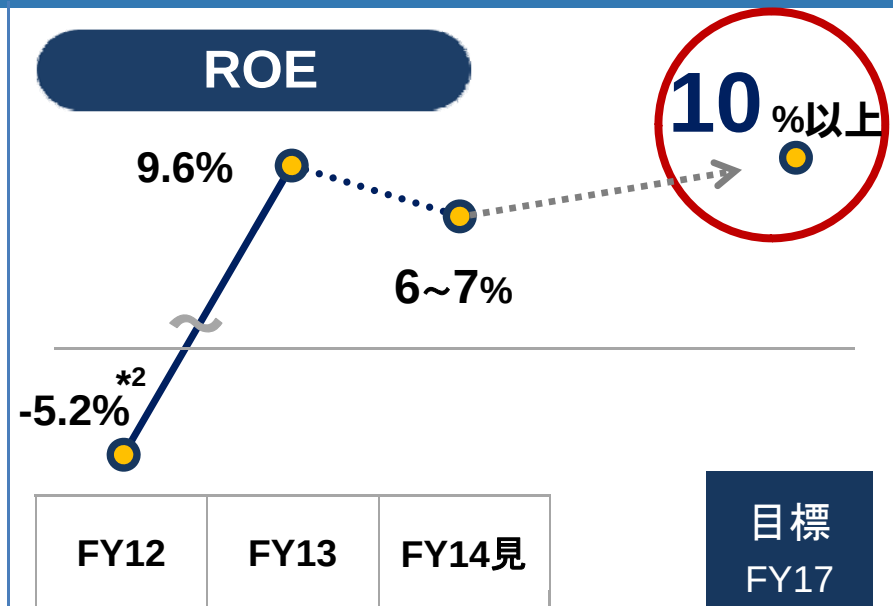
定量的指標の目標値

25

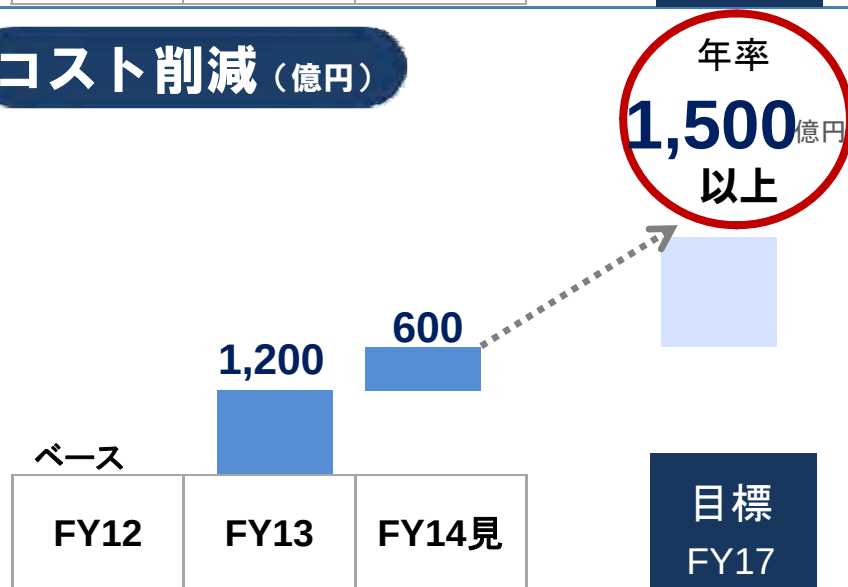
ROS



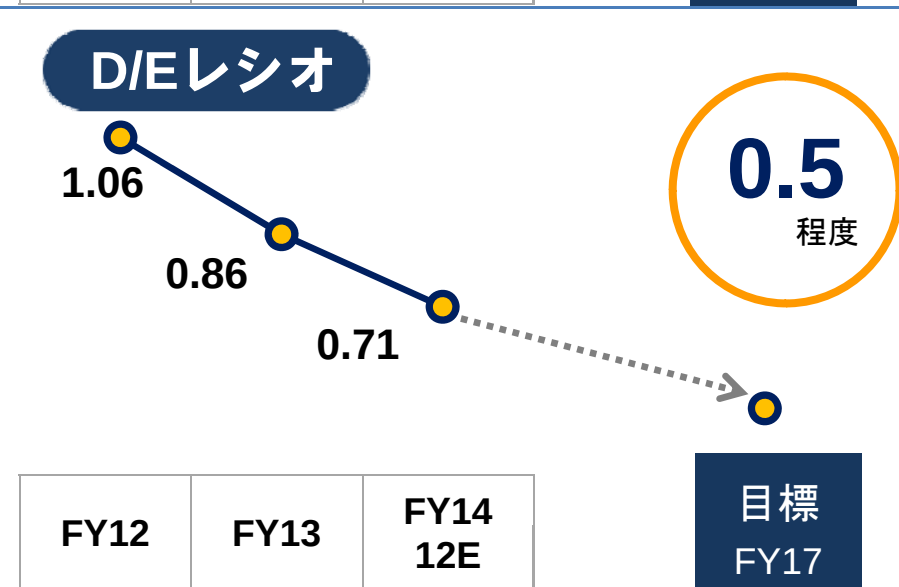
ROE



コスト削減 (億円)



D/Eレシオ



*1 旧両社合算ベース

*2 存続会社ベース

■ 連結配当性向

20% ~ 30% 目安

（現行 20%程度を基準）

(対 FY13-14見平均)

■ 採用 (単独) 1,300 人/年 (+600 人/年)

■ 国内設備投資 13,500 億円/3ヵ年 (+3,000 億円/3ヵ年)

■ 事業投資 3,000 億円/3ヵ年

■ 研究開発費 2,100 億円/3ヵ年 (+10% 程度)

- **コスト改善** (単独) 年率 **1,500** 億円 以上
- **海外収益拡大** **+ 500** 億円/3カ年 (対 FY14見)
- **非鉄経常利益** **+ 50 %** /3カ年 (対 FY14見)
- **利益水準** **ROS 10 %** 以上
- **資本効率** **ROE 10 %** 以上

■ 資産圧縮

2,000 億円程度 / 3ヵ年

■ D/Eレシオ

0.5 程度 (国際A格平均水準)

■ 連結配当性向

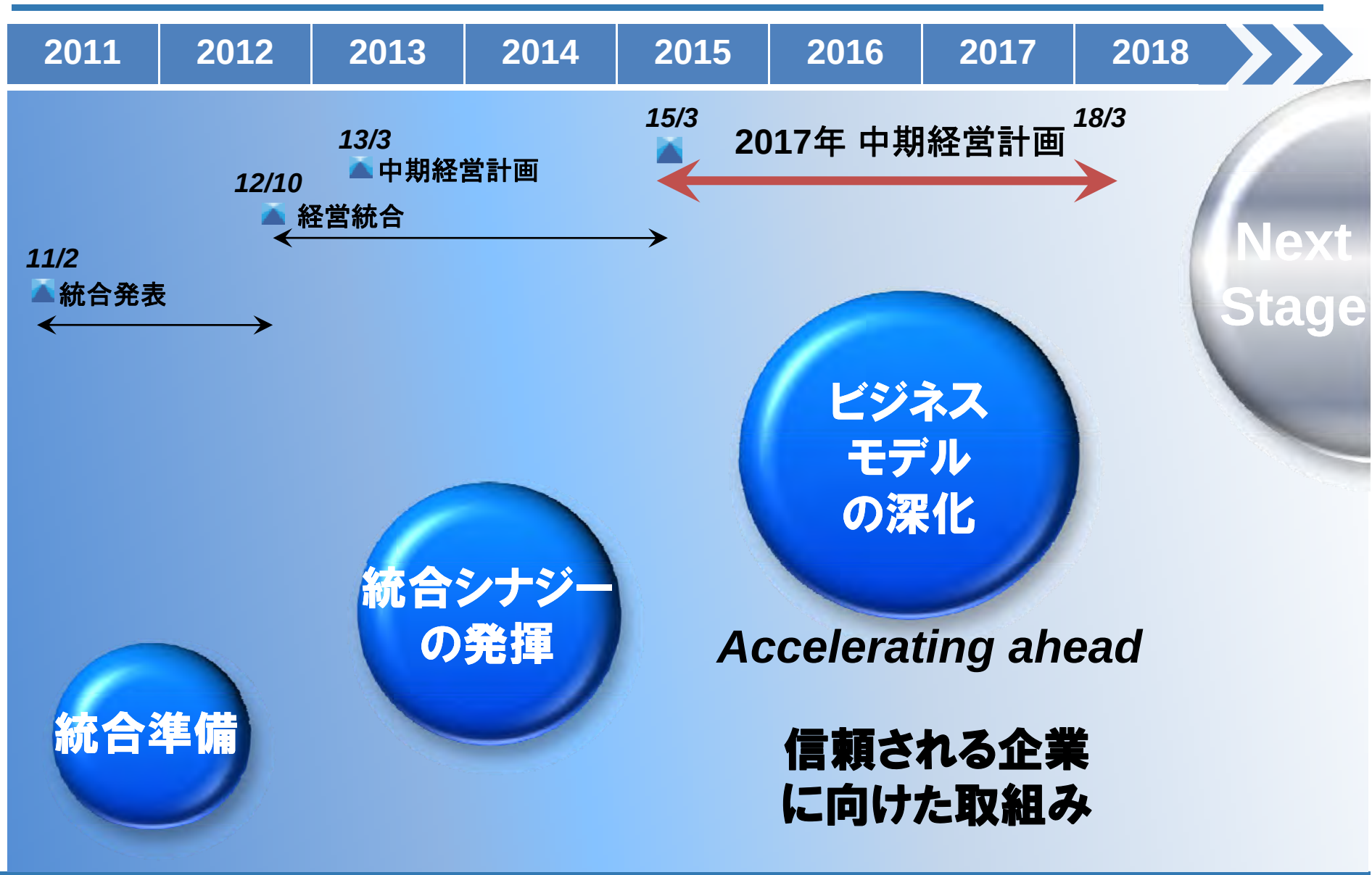
(2015年度から適用)

20% ~ 30% 目安

(現行 20%程度を基準)

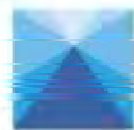
企業価値の更なる成長に向けて

30



常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、
優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献します。





新日鐵住金株式会社

2017年 中期経営計画

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。